

■ 日時 2019年9月27日（金）15:20～16:40

■ 会場 奈良先端科学技術大学院大学 ミレニアムホール

講演者プロフィール／講演テーマ

石田 靖雅（いしだ やすまさ）

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科
バイオサイエンス領域 准教授

テーマ

「PD-1 ～がん免疫療法の新境地を開いた分子～」

私は、T細胞による自己-非自己識別機構の本質に迫りたいと思い、学生時代に夢見たサブトラクション実験を京都大学の本庶研究室にて実行し、たった1つのPD-1遺伝子にたどり着きました。

そのPD-1は、当初私が狙っていたような細胞死関連分子ではありませんでしたが、抗体によって生体内でPD-1の機能を弱めると一部のがんが治ることが発見され、2018年12月に本庶佑教授がノーベル生理学・医学賞を受賞されました。

本講演では、T細胞が自己と非自己を識別する際にPD-1が果たす役割について説明するとともに、2018年のノーベル生理学・医学賞の授賞式や晩餐会の様子をお話ししたいと思います。

略 歴

1986年 名古屋大学医学部医学科卒業

1986年 愛知県がんセンター病院 内科レジデント

1991年 京都大学大学院医学研究科博士課程生理系専攻修了 医学博士

1991年 京都大学医学部助手

1993年 ハーバード大学医学部（遺伝学）ポスドクトラル・フェロー

1999年 国立精神・神経センター神経研究所室長

2000年 京都大学再生医科学研究所助教授

2001年 奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科助教授

2018年 奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科
バイオサイエンス領域准教授

受 賞

2014年 JCA-CHAAO賞（日本癌学会）